

# Illustratorクリエイター能力認定試験

## スタンダード

サンプル問題  
(Ver.CS、CS2、CS3、CS4、CS5、CS6 対応版)

### 第 2 部 実践問題 問題冊子

【制限時間 90 分】

#### 注意事項

- “ILスタンダード××××（バージョン名）”フォルダ内に“第2部実践問題”フォルダが収録されていることを確認してください。
- 指示があるまで問題冊子およびファイルを開いてはいけません。
- 試験終了後、問題冊子を回収します。

受験会場	
受験番号	
氏 名	

試験問題に記載されている会社名又は製品名は、それぞれ各社の商標又は登録商標です。  
なお、試験問題では、® 及び ™ を明記していません。

サーティファイ  
ソフトウェア活用能力認定委員会

### <問題文の表記方法>

本試験内で提示される問題文の表記方法は、原則下記に従います。ただし、出題の内容や解答に関連する部分で、一部原則よりはずれることがあります。

- 1 フォントの表記：フォントの使用指示が OS によって異なる場合は、『MS ゴシック（Mac：Osaka）』のように Windows 対応表記を先に記載し、次に（ ）を付けて Macintosh 対応表記を記載します。
- 2 ファイル名は“ ”でくくり、“問題.ai”のように表記します。
- 3 フォルダ名、ファイル名の大文字、小文字はシステムの設定により表示が異なる場合がありますので、厳密に区別をしません。ご使用のシステムの表示に従ってください。
- 4 Illustrator CS2 以前のバージョンにおいては、「パネル」は、「パレット」と表現しますが、本試験内では、「パネル」という表記で統一しています。

### <注意事項>

- ・ “第2部実践問題”フォルダ内の“参考画像”フォルダには、完成例が収録されています。問題文の指示に従って参照してください。
- ・ 問題文中に設定値の指定が無い場合は、完成例を参考に適切な設定値を適用してください。
- ・ 特に指示がなくとも適宜上書き保存し、データが失われないようにしてください。

### <フォントについて>

- ・ 問題文や設問において指定されたフォントがシステムに搭載されていない場合は、試験監督者より指示された代替フォントを使用してください。  
※ Illustrator CS/CS2 でご受験いただく際、インストール環境により、問題文中で指示されているフォントファミリーまたはフォントスタイルがシステムに搭載されていない場合があります。その場合は、試験監督者の指示に従って代替フォントを使用してください。

## 素材データについて

“第2部実践問題”フォルダ内には、問題中で使用する3つの画像ファイルと1つのテキストファイルが収録されています。

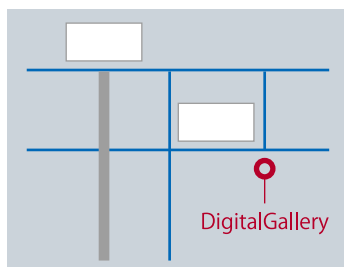
“image.psd”



“イラスト .ai”



“地図 .ai”



“テキスト .rtf”

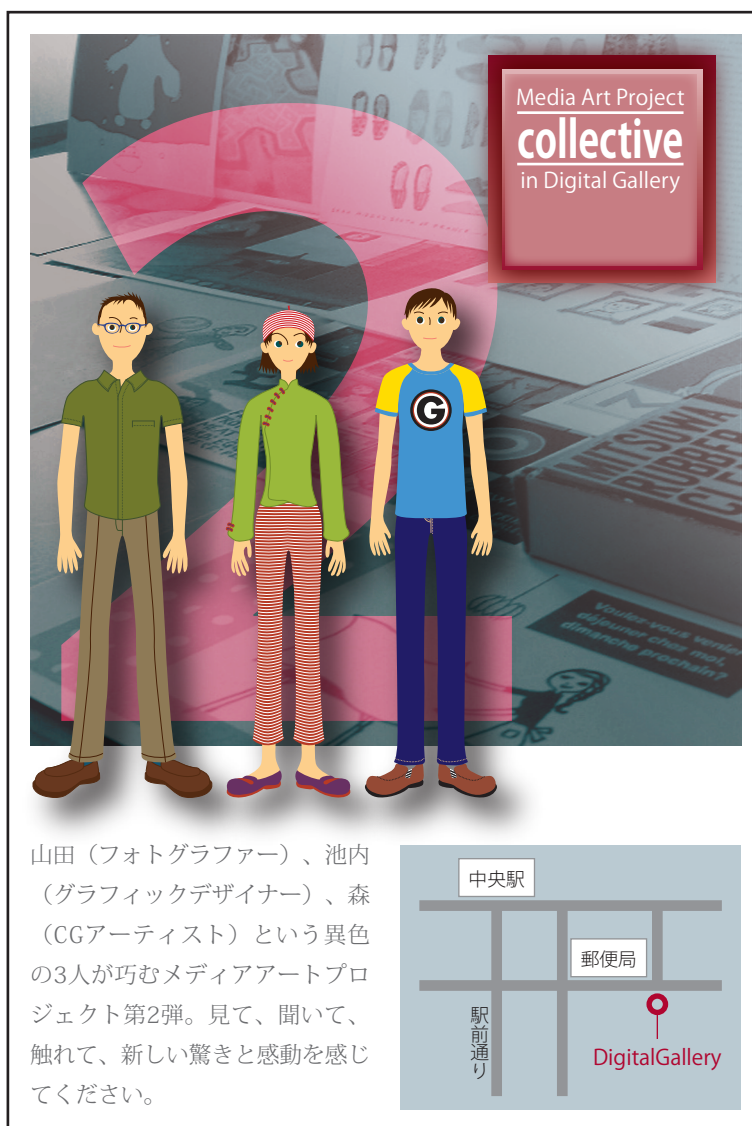
山田（フォトグラファー）、池内（グラフィックデザイナー）、森（CGアーティスト）という異色の3人が巧むメディアアートプロジェクト第2弾。見て、聞いて、触れて、新しい驚きと感動を感じてください。

## テーマ設定とレイヤー構成

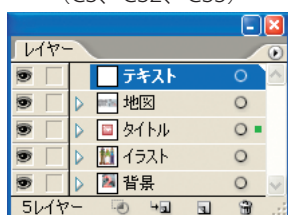
展示スペースを提供している「Digital Gallery」では、次回の企画展の案内ハガキを作成することになった。＜図1：完成例＞および“参考画像”フォルダ内に収録されている参考画像ファイル、“完成例.jpg”、＜図2：完成時のレイヤー構成例＞を参考に、作業指示書に従ってポストカードを制作しなさい。

制作した作品は“スタンダード××××.ai”（××××は受験番号）という名称で、“第2部実践問題”フォルダ内に保存しなさい。

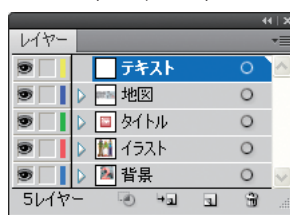
＜図1：完成例＞



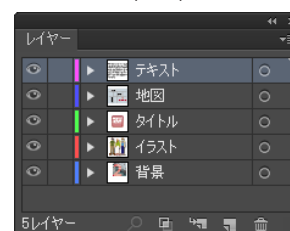
＜図2：完成時のレイヤー構成例＞  
(CS、CS2、CS3)



＜図2：完成時のレイヤー構成例＞  
(CS4、CS5)



＜図2：完成時のレイヤー構成例＞  
(CS6)



## 作業指示書

### 手順1 ドキュメントの作成

1. 以下の設定で新規ドキュメントを作成し、“スタンダード××××.ai”（××××は受験番号）の名称で、“第2部実践問題”フォルダ内に保存する。

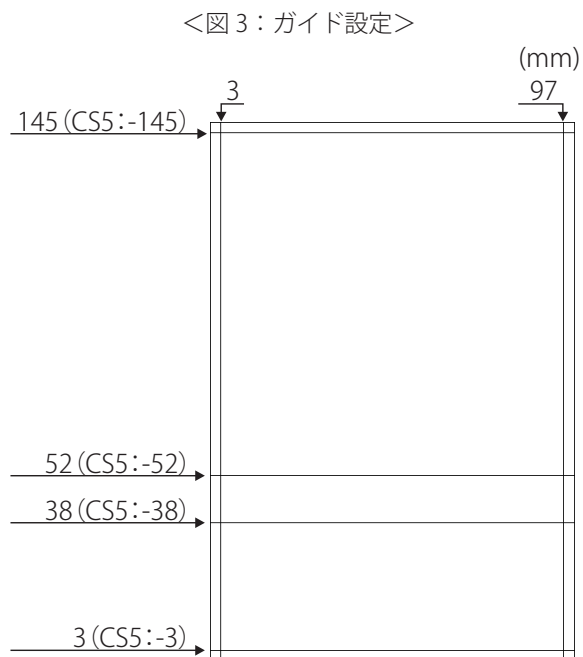
アートボードのサイズ 幅：100mm 高さ：148mm

単位：ミリメートル

カラーモード：CMYK

（CS3,CS4,CS5,CS6）ラスターライズ効果：高解像度（300ppi）

2. <図3：ガイド設定>を参考に、6本のガイドを作成する。なお、<図3：ガイド設定>の数値は、アートボードの左下を原点（0,0）とし、原点からの距離をミリメートルで表している。



### 手順2 画像の配置と編集【レイヤー「背景」】

1. レイヤー「レイヤー1」の名前を「背景」に変更し、“image.psd”を配置する。なお、“image.psd”を配置する際、「配置」ダイアログボックスで「リンク」のチェックを外し、“image.psd”を“スタンダード××××.ai”に埋め込むこと。
2. <図4：“image.psd”の配置>を参考に、ガイドに合わせて画像の位置とサイズを調整する。なお、“image.psd”は、垂直方向のみ縮小すること。

<図4：“image.psd”の配置>



3. 全角文字「2」を入力して以下の通り設定し、＜図5：文字「2」の配置＞および参考画像“図5.jpg”を参考に、文字の位置を調整する。

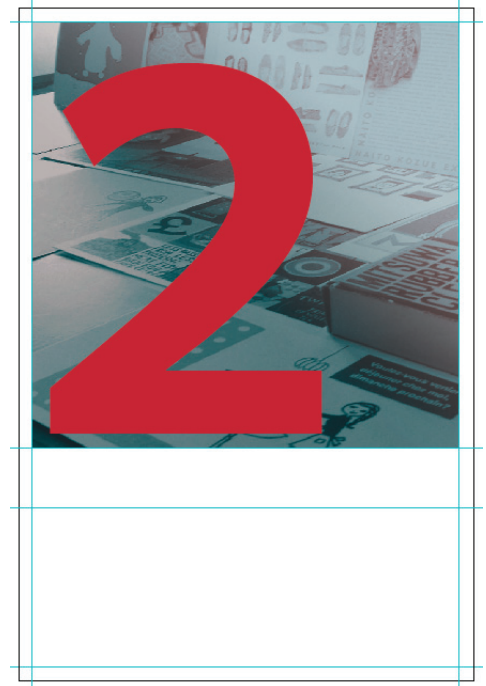
フォントファミリー：小塚ゴシック Pro

フォントスタイル：B

フォントサイズ：300pt

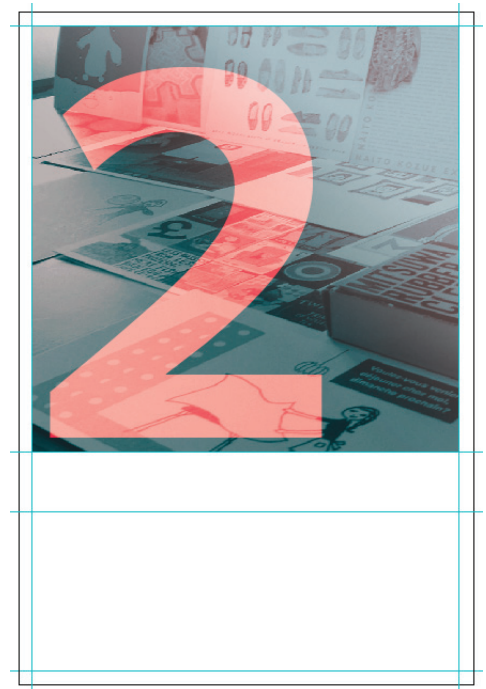
塗り：C:0% M:100% Y:70% K:30%

＜図5：文字「2」の配置＞



4. 全角文字「2」の描画モードを「スクリーン」に変更する。

＜図6：手順2完了時の状態＞



### 手順3 イラストの配置と編集【レイヤー「イラスト」】

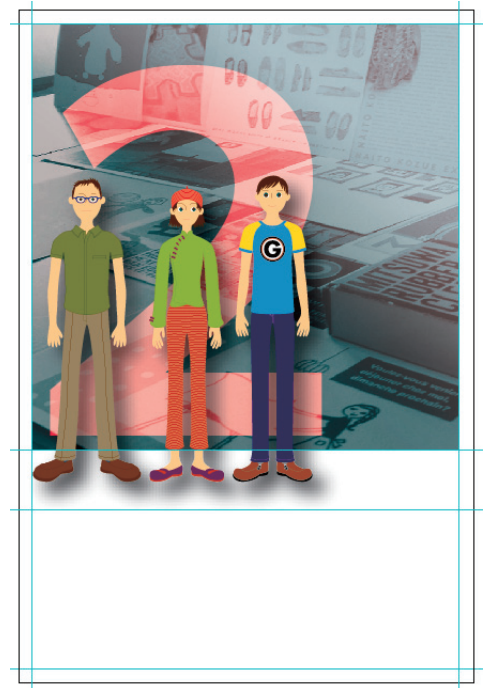
1. レイヤー「イラスト」を作成する。
2. “イラスト.ai”を開く。“イラスト.ai”には、3人の人物のオブジェクトが作成されており、それぞれグループ化されている。アートボード上のすべてのオブジェクトを選択してコピーし、“スタンダード××××.ai”のレイヤー「イラスト」にペーストする。ペースト完了後、ファイル“イラスト.ai”を閉じる。
3. <図7:手順3完了時の状態>および参考画像“図7.jpg”を参考に、ペーストしたイラストの位置を調整する。その際、3人の人物のオブジェクトを垂直方向下に整列させ、水平方向を等間隔に分布させること。
4. <図1:完成例>を参考に、3人の人物のオブジェクトに以下の設定で効果「ドロップシャドウ」を適用する。

ドロップシャドウの位置：ドロップシャドウが人物のオブジェクトの右下に表示されるようにする。

カラー：C:0% M:0% Y:0% K:100%（ブラック）

その他の設定については、完成例と著しく異なることのないよう、適当な設定を行う。

<図7:手順3完了時の状態>



## 手順4 タイトルの作成【レイヤー「タイトル」】

1. レイヤー「タイトル」を作成する。
2. レイヤー「タイトル」上に、幅：30mm、高さ：30mm の正方形を作成する。
3. 2. で作成した正方形に、以下のグラフィックスタイルを適用する。

グラフィックスタイルライブラリ：ボタンとロールオーバー  
ベベルレッド（通常）

4. <図8：正方形の配置>および参考画像“図8.jpg”を参考に、正方形の位置を調整する。
5. 半角文字列「Media Art Project」、「in Digital Gallery」をそれぞれ入力し、以下の通り設定する。

フォントファミリー：小塚ゴシック Pro

フォントスタイル：R

サイズ：8pt

中央揃え：ON

塗り：C:0% M:0% Y:0% K:0%（ホワイト）

その他の設定については、完成例と著しく異なることのないよう、適当な設定を行う。

6. 半角文字列「collective」を入力し、以下の通り設定する。

フォントファミリー：小塚ゴシック Pro

フォントスタイル：B

サイズ：19pt

中央揃え：ON

水平比率：75% 垂直比率：100%

塗り：C:0% M:0% Y:0% K:0%（ホワイト）

その他の設定については、完成例と著しく異なることのないよう、適当な設定を行う。

7. 以下の設定で、水平線を2本作成する。

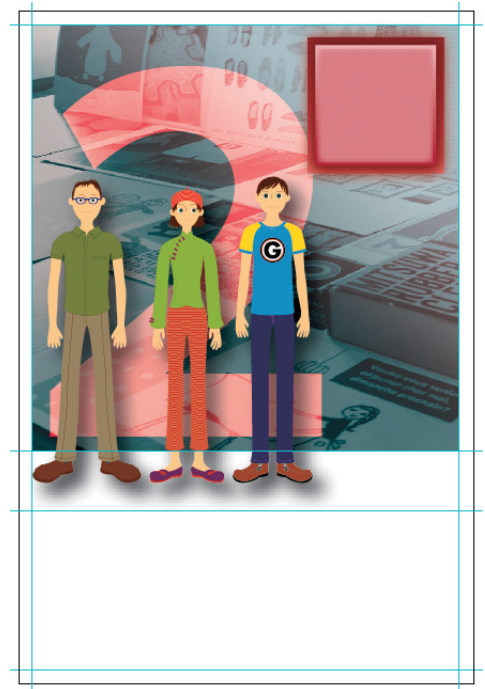
線の長さ：22mm

線：C:0% M:0% Y:0% K:0%（ホワイト）

線幅：1pt

8. <図9：文字列と水平線の配置>を参考に、5.～7. で作成したオブジェクトの位置を調整する。

<図8：正方形の配置>



<図9：文字列と水平線の配置>

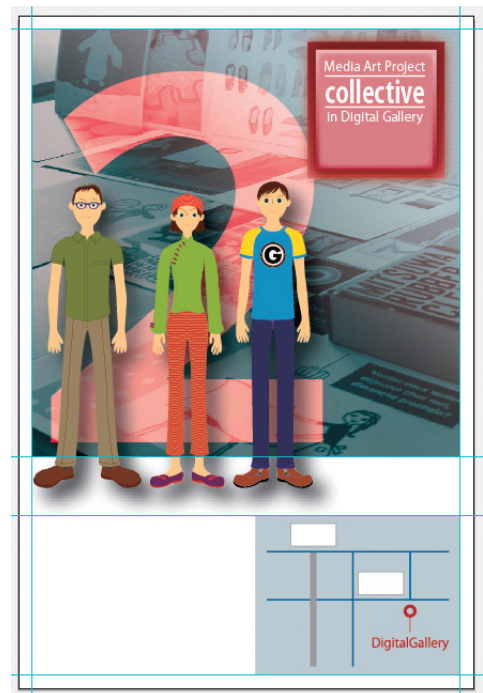


## 手順5 地図の作成【レイヤー「地図」】

1. レイヤー「地図」を作成する。
2. “地図.ai”を開く。“地図.ai”には、地図の元となるオブジェクトが作成されている。アートボード上のすべてのオブジェクトを選択してコピーし、“スタンダード××××.ai”のレイヤー「地図」にペーストする。ペースト完了後、ファイル“地図.ai”を閉じる。

3. <図10：地図の配置>を参考に、ペーストしたオブジェクトを配置する。

<図10：地図の配置>



4. 文字列「中央駅」、「郵便局」、「駅前通り」を入力し、以下の通り設定する。

フォントファミリー：小塚ゴシック Pro

フォントスタイル：L

※システムに同一のフォントがインストールされていない場合は、試験監督者の指示に従い、代替フォントを使用すること。

サイズ：7pt

中央揃え：ON

水平比率：100% 垂直比率：100%

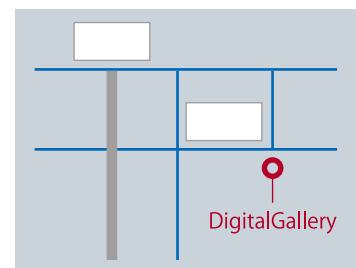
塗り：C:0% M:0% Y:0% K:100% (ブラック)

その他の設定については、完成例と著しく異なることのないよう、適当な設定を行う。

5. 文字列「駅前通り」の組み方向を縦組みに変更する。

6. <図11：地図の編集>と<図12：地図の完成例>を参考に、レイヤー「地図」にペーストしたオブジェクトのうち、4本の青い線を、線幅：4ptのグレーの線と同じ太さ、色に変更する。

<図11：地図の編集>



7. <図12：地図の完成例>および参考画像“図12.jpg”を参考に、4.で作成した文字列を配置する。

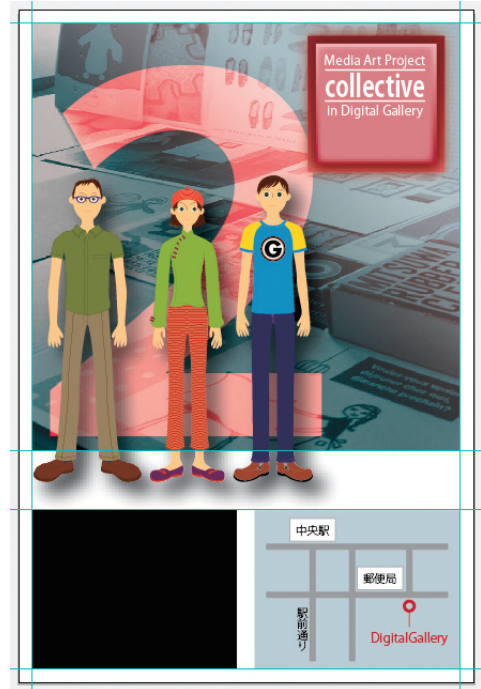
<図12：地図の完成例>



## 手順6 テキストの編集【レイヤー「テキスト」】

1. レイヤー「テキスト」を作成する。
2. レイヤー「テキスト」上に、幅：45mm、高さ：35mm の長方形を作成し、＜図 13：長方形の配置＞を参考に、位置を調整する。
3. “テキスト .rtf” をリッチテキストエディタで開き、全文をコピーする。
4. エリア内文字ツールを使用して、2. で作成した長方形のエリア内に、コピーした文字列をペーストする。

＜図 13：長方形の配置＞



5. ＜図 14：テキストの設定＞を参考に、ペーストした文字列を以下の通り設定する。

フォントファミリー：小塚明朝 Pro

フォントスタイル：L

サイズ：8.5pt

行送り：15pt

均等配置（最終行左揃え）：ON

カーニング：0（「自動」、「オブティカル」、「和文等幅」に設定されている場合は、「0」に設定すること）

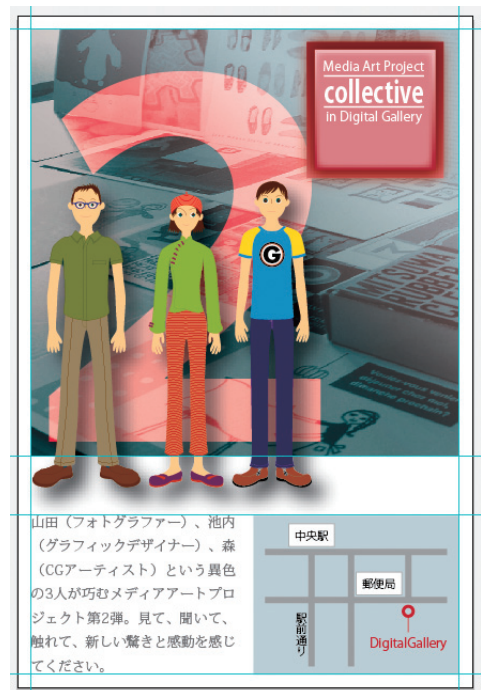
禁則処理：強い禁則

文字組み：なし

塗り：C:0% M:0% Y:0% K:70%

その他の設定については、完成例と著しく異なることのないよう、適当な設定を行う。

＜図 14：テキストの設定＞



## 手順7 ファイルの保存と提出

1. 制作したドキュメントを以下の設定で保存する。

ファイル名 (Mac: 名前): スタンダード××××.ai (××××は受験番号)

ファイル形式 (Mac: フォーマット): Adobe Illustrator (\* .AI)

保存場所: "IL スタンダード×××× (バージョン名)" フォルダ内の "第2部実践問題" フォルダ内

## 解答データの提出

試験監督者の指示に従って "IL スタンダード×××× (バージョン名)" (××××は受験番号) フォルダを提出する。

試験問題内容に関して、他人にこれを伝え、漏洩することを禁じます。

© CERTIFY Inc.2010 禁無断転載複写